

学校だより

第1号

# いつも心にあいうえお

令和6年6月10日(月)

発行：那覇尚学院  
 高等専修学校  
 文責：初鹿野 修

## 開校して、2か月がたちました。

2022年	4月	専修学校 那覇尚学院 (高等課程) 新設	
2024年	4月 1日	専修学校 那覇尚学院 (高等課程) 開校	職員 3名 校長・教務主任・事務担当
	4月 20日	第1回入学式 挙行	入学生 1名
	4月 22日	授業開始	
	5月 15日	技能連携先：科学技術学園高校の本校担当者とのオンライン会議	(月1回予定)
	5月 19日	ツータンTV (QAB) 本校紹介のTV放映	
	5月 22日	保護者面談	(今後生徒の情報共有のため月1回実施予定)
	5月 29日	学校訪問開始①沖縄尚学中学校 (今後の連携の情報交換のため)	
		浦添市立浦添中学校 (本校周知のため)	
	6月 3～7日	実力テスト (高校入試程度) 実施	
	6月 5日	学校訪問② (本校周知のため) 那覇市立城北中学校	
予定	6月 12日	学校訪問③ 浦添市立港川中学校・那覇市立那覇中学校	
	6月 19日	学校訪問④ 浦添市立仲西中学校・浦添市立神森中学校	
	未定	沖尚中との学校説明会についての打合せ ※今後調整	

学校運営方針です。

- 学校経営の基本理念 「教育理念 ～ 人間力を育てる ～ 」
- 学校訓 (学院長訓) 私達は「怖れず、侮らず、気負わず」にやるべきことに取り組みます  
私達は「暖かみ、厳しさ、知性」を身に付け、「謙虚と奉仕」の心を実践します
- 学校教育目標 一人も独りにしない、ききあう関係で学びを深める生徒の育成

めざす生徒像を次のように決めました。 : 学び合いを軸に

- チャンス・チャレンジ・チェンジ (3つのC) で、「やりたい」に出会い、「なりたい」自分を見つける  
自ら学び、考え、感じ、行動でき、社会で生きていくための「人間力」を培う生徒をめざす  
※挑戦・継続・習慣 (学び、気づく、動く、続ける、身につく)

学校としての基礎を今創りつつあります。内部固めをするとともに、外にも周知するためにグループ校の沖尚中をはじめ、まずは近隣 (那覇・浦添) の中学校を訪問し、進路指導の先生に、本校の説明をしています。

学校だよりの第1号にあたり下記のことを載せて、学校職員で十分理解し、今後の実践に生かしたいと思います。

2に2をたせば4になるということがどうしてもわからない子どもがいる。その先生は、その子どもになんとかわからせようとして、おととい懸命に教えた。だがわからなかった。きのうは違う方法と解釈でその子どもと対決してみたが、やはりだめだった。そしてきょう、いままでと全然違う教材の解釈をし、子どもの解釈をして、とうとうその子どもをわからせてしまった。そのときその教師は、はじめて算数がわかり、子どもがわかり、授業がわかり、教育がわかったということになる。学級全体の授業を組織し発展させていくことも、そういう対決、そういうたたかいによってよりほかに、教師自身が学習し、自分を変革させていく方法はない  
 ※1950～60年代に日本の授業研究をリードした群馬県島小学校 校長 斎藤喜博 「授業」 1963

### 本校生徒の現在の状況

授業日数	6/6現在	32日
出席状況	出席	26
	(遅刻)	(17)
	欠席	6
	理由有 理由無	(2) (4)
備考		

4月は、  
入学式後皆出席  
 5月連休明けは  
午後登校・欠席あり  
 20日頃より  
午前登校  
 6月1週目は  
ほぼ10時には登校  
 ※国社数理英の実力テスト実施 (6/3～7)

### 職員3人の紹介

- 校長 (部門長) : 初鹿野修  
宮崎県出身 在沖49年 県立養護学校・公立小学校・在外教育施設 (フラジール)・行政 (市教委) 等で37年間勤務。その後専門学校で、留学生、教職科目を教え、現職。
- 教務主任 : 平安山雅矢  
沖縄県出身 英語・日本語講師として県内専門学校で12年勤務。
- 事務・PC担当 : 下地美鈴  
沖縄県出身 県内専門学校事務員として6年間勤務。現在、日本語教師養成講座を受講中。6月終了予定。